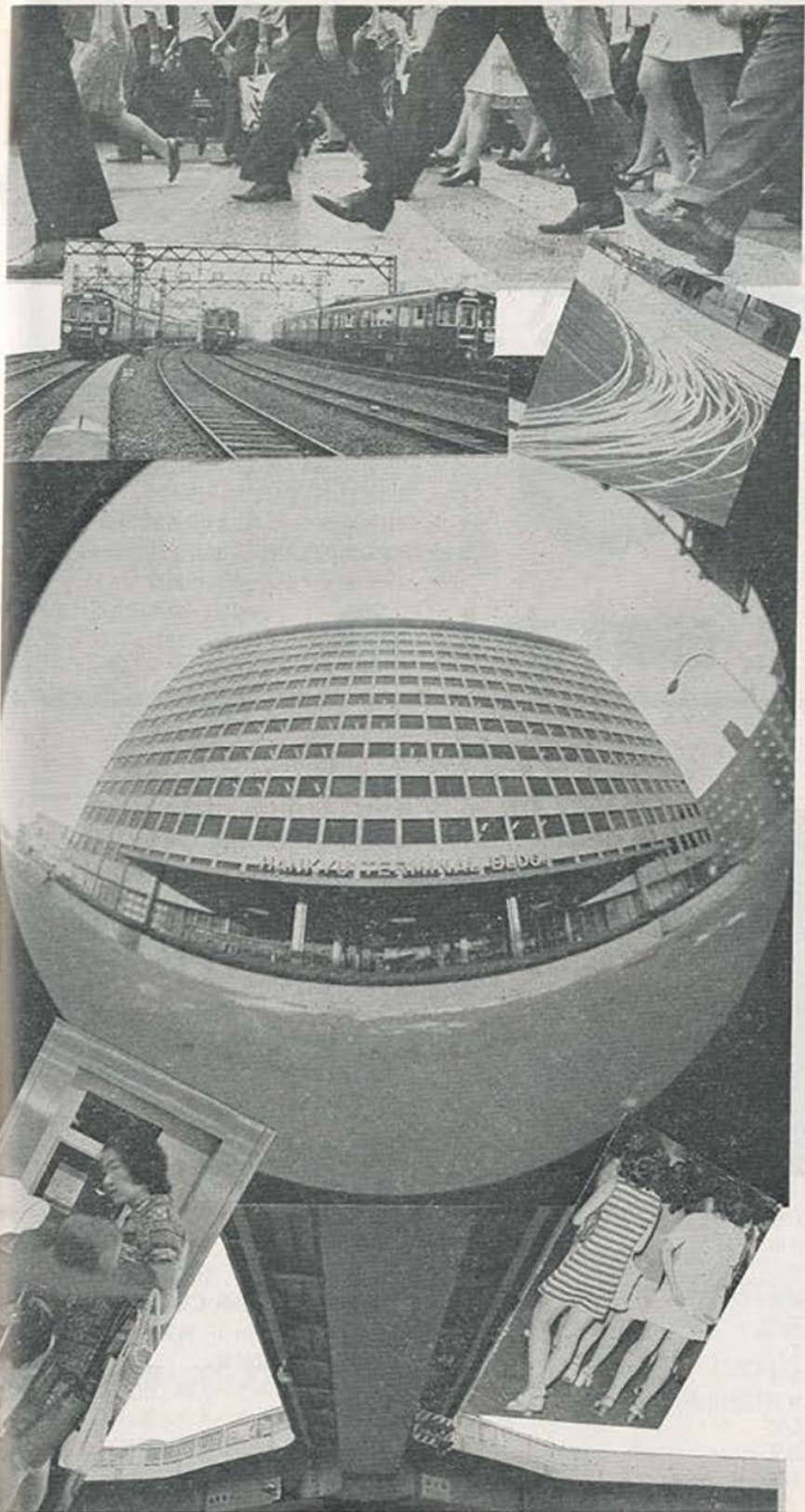


特集 梅田がいらい



生きてる梅田

あなたにとって
梅田とは、

一日2回通過するところ、遊ぶところ、買物するところ、動め先のあるところ……。

大阪でキタとミナミといえば賑やかなところの二極を意味します。道頓堀・心斎橋を中心とするミナミが、決速情緒を残す古くからの繁華街だとすれば、キタは新しい庶民の街です。

そのキタの中心・梅田界限。因鉄大阪駅・阪急・阪神、そして地下鉄……、京阪神のみならず全国から大阪に流れ込む人々の玄関口であり、ターミナル性に裏打ちされたダイナミックな繁栄を誇るまちです。そして、どんな変身をつづけている街です。

今回は、阪急梅田駅を中心に「生きてる街・梅田」にスポットをあててみました。

梅田の三二歴史

梅田は昔、埋田(うずめた)と書いていたそうです。

淀川の大きな流れが、この付近に広大な沼沢地をつくっていたところを、埋めて田とした……といわれています。

現在の姿からは想像もできないほど寂しいところであったことは確かでしょう。

そこへ、明治7年5月、梅田ステーション(第一期大阪駅)ができ、英国風のレンガを使った当時としては、超モダンな駅舎が出現して、連日、物見高い浪速っ子が押しかけてきて、一躍大阪名所となったとか。

その後、明治34年には因鉄大阪駅の二代目が現在地に誕生し



大正9年の阪急梅田駅

明治38年には阪神電車が、43年には阪急電車の前身、箕面有馬電気軌道が開業、このころから本格的な梅田の発展が始まったといえます。

生きてるまち・梅田

ここ5年ほどの梅田の変りようは、毎日梅田に通勤している人でもビックリする変身ぶりです。

一週間も留守にすると、いつも見なれた一角がスッカリ変わっている……、こんな経験は誰もが日常茶飯事のように出合っていることです。

地下鉄の開業、ビルの新築、地下街の拡張……、あたかもそれは「生きもの」のように、ふ

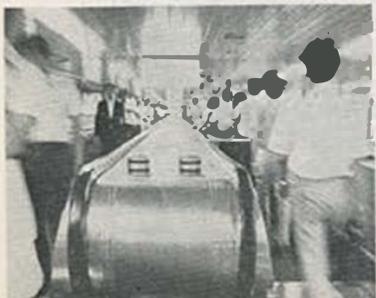
くれ、ひろがり、呼吸し、成長しているみたいです。

▲生きてる梅田Vをつかまえてみたい……、そんな意味で、ある一日24時間の梅田を、ある特定の人間がルポしてみたのが「梅田24時V」です。

そして、混々沌々として、油然と流れ動く梅田を、雑然のままランダムに探検してみたのがそれ以下のページです。

いつものコースをちょっと覗いてみたら、こんなお店にぶつかった、とか、こんなところにこんなものがといった発見、知っているようで知らない梅田の姿を、及ばずながら求めてみました。

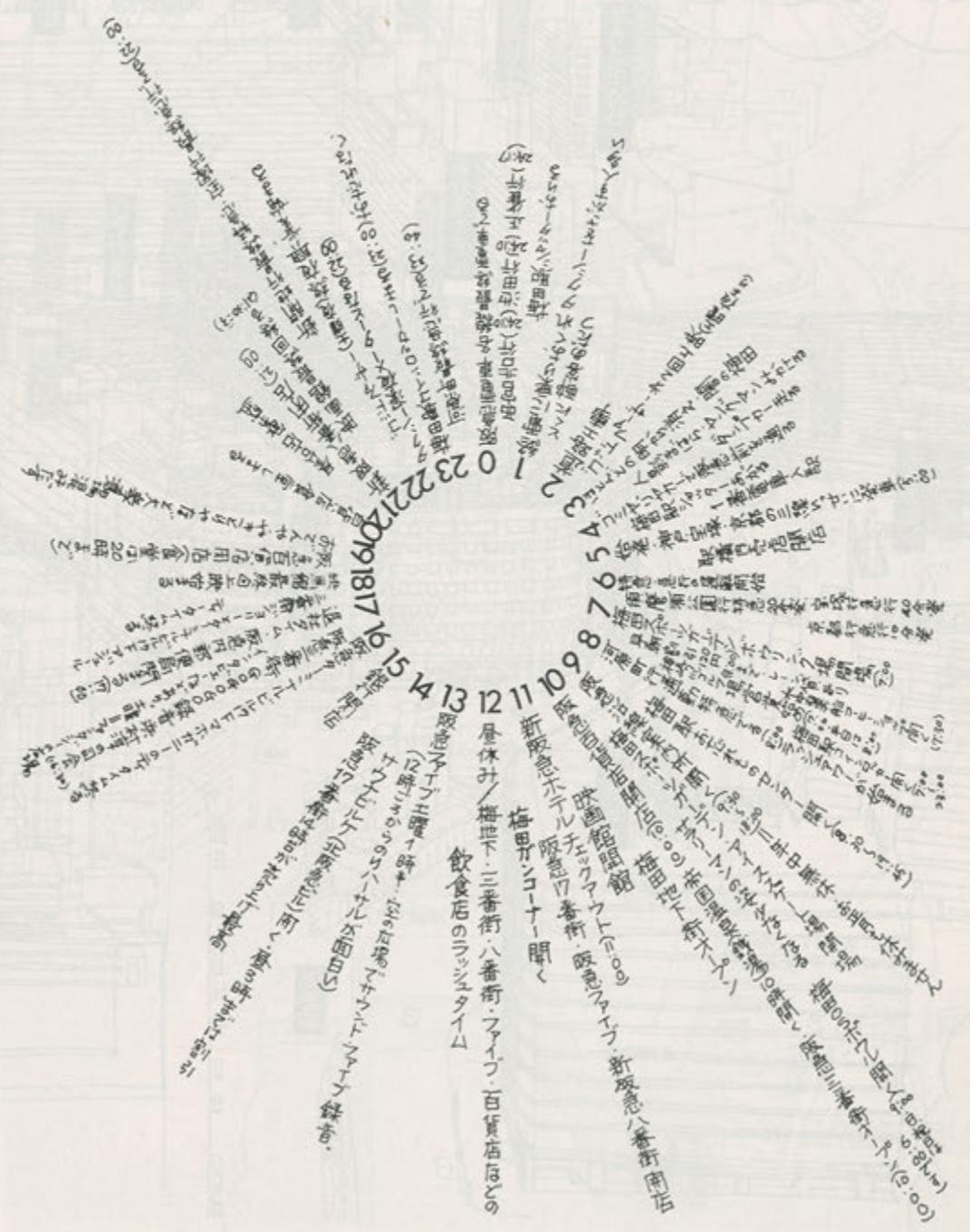
知っておればトクな話や、便利な情報もありますが、読みものとして、気楽に読みながしてください。



生きてる梅田 24時

梅田に勤めて10数年。梅田のことならだいたい知っている。どこで何を売っている、どこへ行けばうまいものが食べられる……といった人にも、どこか空白の時間帯があるはず。

梅田24時は文字通り梅田の1日のダイジェスト版である。3人のルポ・ライターがその時間その場所の梅田を、見たまま、きいたままつぶつてみたものである。このページのタイムテーブルとあわせて、あなたの知らないかった梅田の顔を見つめなおしてみよう……。いわば、梅田再発見のページである。



4時49分——一番電車着。

めざめる梅田



4時30分、ガードマンの姿だけが……

毎日梅田へ通勤している人に梅田の夜明けを知っていますか？と尋ねても、大部分のヒト（おそらく90パーセント）が、サアテと首をひねることだろう。深夜の梅田はチョクチョク酔眼のうちに拜見させていたのだ……といった平均的サラリーマンにとって、一番の空白タイム、それが早朝の梅田である。生きてる梅田にとって、梅田24時のはじまりは、それが目覚める午前5時ごろが1番ふさわしいと思える。

午前5時——。早起きの人家庭で目覚めるとき。梅田では

阪急電車の神戸線・宝塚線・京都線それぞれの1番電車がでる時刻である。

時間は約30分ほどさかのぼる4時半ごろ、梅田駅と旧梅田駅のまわりにおろされていたシャッターがガードマンの手によって次々と上げられていく。

厳密に言えばこの時が梅田駅の目覚めである。昨夜眠りについていたのが24時20分、わずか4時間ほどの短い眠りである。

人っ子一人いないコンコースに蛍光灯だけが明か明かと光っている。ガードマンがシャッターの鍵穴に鍵をさしこむガチャ

ガチャという音が、ガランとした構内に異様にひびく。そんな小さな音を確認できるのはこの時間だけである。ダイナミックな梅田もその目覚めはやはり物静かである。ギギギーときしみながら上るシャッター。梅田が大きなアクビをしている。

人のざわめきも、せわしげな靴音もない。3階へ通じる6基のエスカレーターだけが音もなく動いている。もちろんそこへ乗っている人はいない。

4時49分——。西宮北口発の1番電車到着。ほどなく宝塚線京都線の電車も入駅してくる。

「ただいま到着の電車は5時発……」のアナウンス。もついても同じ梅田駅の表情を見せる



梅田駅に1番早く着いた神戸線の電車

パシャッとエアブレイキの空気の抜ける音、ドアが開く

く、ラッシュニ時や昼間となら変わらないことがそこで行なわれている。



初発がでたあとはまた人影なし

ただ、降りてくる人はあまりにも少ない。長いホームに人影はまばらである。改札口へ急ぐ人も眠たげである。アナウンスも、駅全体をまぶしく照らしている蛍光灯も、エスカレーターもすべて目覚めたところで、なんとなく眠たげである。

「おはよう」「おはようす」

数人の中年婦人が改札口で職員と挨拶をかわしていく。無表情の大会の中で、人と人のつながりを見た。



「知りあいですか?」「いえちがいますけど、いつも1番電車でお目にかかる方たちです」

職員にとって数少ない1番電車の乗客はすでに顔なじみなのであろう。

都会の無関心、無表情、機械化の画一性の中で、人間と人間の対話が生まれる時、それが目覚める梅田の表情でもある。

5時発の1番電車に乗る人がチラホラ。一見して徹夜組と思える人が大部分をしめ、ボンヤリと座席に身をまかせている。売店で買った新聞に目を通す人は、出勤するサラリーマン風。

徹夜組の人にフト昨日からの梅田24時の軌跡を尋ねてみたくなったが、発車ブザー。目覚めたばかりでも梅田の行動は正確である。ぼつぼつ動くか……といった人間的なことはゆるしてくれない。そのブザーの音に、生きてる街・動く街・働く街、梅田の集約を見た。

昼下りは女性専科：

ああー。
午後2時。
うっかりしていると、思わず連続してあくびの出でくる昼下がりが。

先ほどまで数人連れのOLやサラリーマンでにぎやかだった梅田の地下街も、今や、食べおくれた商店の人やセールスマンのランチ・タイム。ほんの少しくつろいで、よもやま話に花が咲く。



さてと、今ごろ混んでいるところといえば：やっぱりデパート、ちょっと歩いてみるか。
「すみません。通してください」暑さもたけなわというのに



これはいつでも人の波。ほんやりつつあったら、買物客にのみこまれて、行く方向を見失ってしまいそう。

片手に荷物、片手に子供と使われて、目は品定め、耳は場内アナウンスと、のんびりしているようで、その実、買物するのも大へんな気力・労力がいられます。

「お買物ですか？」
30代なかばのご婦人にインタビューを試みました。
「ええ、やっと出て来たんですよ。朝から家の中のこと片づけて、子供に昼食を食べさせて、

着替えをさせて……」なるほど、それでお昼すぎになると、急に中年のミセスがめだつのかな。
「デパートは品数が豊富だから近所で間に合わないものをまとめて買います。それに、流行のファッションもみれますし……」とのこと。

お夕飯の仕度に間に合うように帰らなくちゃと言って、いそいでエスカレーターへ。三食昼寝つきなんていって、奥さまもけっこうお忙しいんですネ。子供の泣き声やお母さんの呼ぶ声が入り乱れて、さながらデパートの昼下がりは、茶の間がそのまま社会へひき出された感じ。場所はかわって、ピアノ曲の流れる17番街。ここは歩く人のセンスもテンポも、デパートで見た人たちとちょっと違うよう造花のいっぴいいたバナナの帽子が楽しいおばあちゃま。レースのベージュのストッキングがよくお似合いの犬連れのミセス、大胆にカットした背中から、ピキニの跡がこの夏の楽しい思い出を語りかけるお嬢さん……

ある高級洋品店のマスターのお話——。

「やっぱり買われるのは年配の実業家夫人というところから。山陽新幹線ができてから月に2、3度必ずショッピングに来られる方もおられます。なにも東京まで行くことはありませんからね。ターミナル直結で地の利もいいし……」

ほかに宝塚歌劇のひととかスターのおしりの買物とか……。お名前はねえ。プライバシーにかかわることだからお話しできませんけどねえ。なんだか、われわれ庶民はお呼びじゃないみたいだけど、けっこう手の届くおねだんもならんでいます。何も全部が全部いいものでなくとも、一つや二つ大切にしておきたい私だけの宝もの——いい匂いのする石けんだとか、ふかふかしたタオルだとか、一生履きたくない指輪だとか——そうしたものはやっぱり17番街に行くと、気に入ったものが手にはいるみたいですよ。



「30才過ぎたら行きにくいヤ……」とある男の人がいました。確かにそんなムードのある街・それが阪急ファイブです。
売子さんも若ければ、お客さんもヤング。「ネ、これどうかしら」「あなたにはその色は似合わないワ、やっぱりベージュを基調にしたシンプルなものがいいですよ」「そうかしら……」。互いに同年代、気軽にファッション談義に花が咲く。

この売子さんは、みんな個性的な服装をしている。それだけにファッションに関しての哲学(?)をもっている人が多い。写真で登場の3人の娘さんも一様に明るくて、ファッションやインテリアデザインについて話せば、次々とその哲学がでてきて、なるほどなるほどと感心するばかり。10年のずれを知ることにきり——。

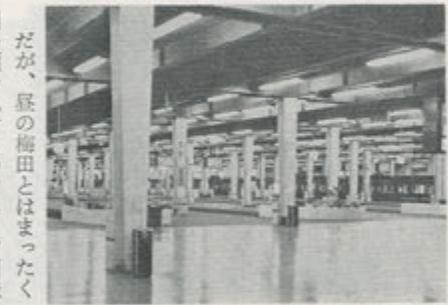
梅田の夜は短い



▲20:30 車が光りの帯に……



▲24:17 終電は最後尾にヘッドライトをつけて——



▲24:15 京都線の電車だけが……



▲4:25 国鉄ガード下 ▼22:20 ナイター興行のはじまる前



土曜夜のOS劇場はほぼ満席の盛況だ。いままでのナイター興行といえは朝までの時間つぶしか仮眠のためのものであったが、ゴッドファーザーは映画そのものを観る人たちはばかりである。眠っている人はいない。さすが若い人が多い。カップル、数人グループ、中には中年の夫婦づれもみられる。第1回上映が終わるのが1時40分。千人近い人はどのようにして家路につくのだろうか？新しい人種・オールナイト族がまた、梅田の顔をかえていくのであろう——

朝、同じ時間帯に梅田に集まってきた人々も、5時に会社が引けてからの行動はまちまちである。もちろん5時に帰れない人も多い。働き過ぎ日本人としては、きっかり退社する人の方が少ないのかも知れない。
また逆に、そのころから梅田に出てくる人たちもいる。遊びに、そして働きに。梅田は昼下りからトワイライト梅田、ミッドナイト梅田へとそれぞれ表情をかえていく。梅田24時の最後は、0時に終らず、朝の5時へとつなげてみた。

この東の間のトワイライトタイムが終れば、いわゆるアルコールタイムであろうか。タイムの「梅田の夜は短かい」はこのトワイライトが短かいからではない。
東京の六本木や京都の木犀町に比べて夜が短かいのである。六本木や木犀町には花やかな夜の顔がある。むしろ昼は眠った街であり、はっきりと夜の街ともいえる。それに対して梅田は、いままですべて来たように雑多な顔をもっている。それだけにヨルだけの街にはなれないのであろう。

だが、昼の梅田とはまったく別の顔を見せるのである。国鉄大阪駅裏にはラーメン屋の屋台がズラリと並び、梅新にかけての露路裏には、まあこんなに沢山あるナと驚くほど多くのパイヤ飲み屋がちらりなり、そこに宇宙遊泳や大演説会が見られる。しかしそのへんは他の盛り場でも大同小異の風景である。梅田の特長はむしろ、0時もすぎ深夜2時・3時になってからである。ここにはアミューズメント梅田の顔があるのではない。まさに生きている梅田そのものがある。

道路工事をはじめ、いろいろな工事が主役となる時である。花やかなイルミネーションの消えた街は、うそのように静か。薄暗闇の中にとときどき人影がかぶ程度である。その中に、コウコウと明るい一角があり、碎岩機のダダダッという力強い音がひびく。あさ、道路が混むまでが勝負の工事はいかにもダイナミックさを感じさせる。このへんが六本木とちがう。六本木深夜2時は、まさに入出が1番多く不夜城の面目を見せるときだ



● 家でできるソーイング
お嫁入りにもって来たミシンがほこりをかぶったまま…ではミシンがかわいそう。手作りの味が楽しめるホームソーイングでたまに使ってみたら。阪急百貨店婦人服売場(3階)では簡単にできるホームソーイングを販売している。
● 出張宴会売ります
なんでも売っているのが百貨店だが、阪急百貨店では宴会セットを売っている。料理はもとより、屋外ならテントはじめ会場設備いっさい、ホステス、案内状の印刷まですべて手配をして、どんな宴会でも承れるとのこと。20名から2千名までOK。大きいものでは、万博の起工式のレセプションも請負ったことがあり、最近では盆踊りなどの出店の注文が多いとか。
食堂事務所 電話 31-1381

● ほやほやママに
赤ちゃんの悩みなら 阪急百貨店の3階にある毎日ベビー相談室。月曜日、日曜日を除く毎日、乳幼児の健康相談を受けています。お医者に診てもらおうほどでもないんだけど、ちょっと心配といった方、買物のついでにちょっとお寄りになると便利。火水木金曜日は乳幼児。土曜日は一般婦人の健康相談を大阪赤十字病院関係のドクターが親身になってのつてくれる。時間は1時から4時半まで
● ミニミニ画廊 八番街アレー地下1階にある八番街の入口ここからはいるとむかって右側のコーナーに設けられているのが八番街アレー。つまり、ミニミニ画廊です。美術館に行きたしヒマはなし、という方。会社の行き帰りに気軽にのぞいて、ゆたかな気持ちになってください

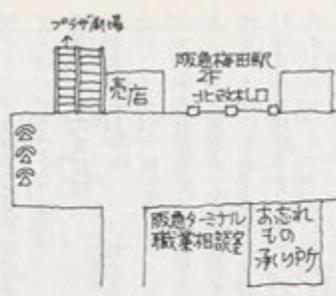
● お見合写真バック
普段着のまま、化粧なしでお越し下さい。振袖一式に美容着付、メイクアップをしてお見合写真が撮れる。カラーキャビネ判2ポーズ各1枚で15,000円。
阪急百貨店 7階
● 翻訳も売ります
難しい専門書の翻訳からラブレターまで、あらゆる翻訳をしているのが、阪急百貨店6階の翻訳部。とくにラブレターは効果てきめんとかで、若い女性に人気あり。
電話 31-3341

● 地下街で停電があったら
アッターリ前のことですが決してあわてないこと、どこの地下街も自家発電の予備灯ぐらいい用意しています。
三番街の場合は、長いように感じても1分弱で予備灯がつくようになっていきます。
ミドリ色の非常出口灯はカドニカ電池ですぐ点灯。警備センターからの非常放送アナウンスにしたがうことです。あわてる気もありません。ですよネ。
● ゼロックスしたいときは
リコピーでなく、ゼロックスがほしいときは、阪急交通社のプレイガイド(阪急百貨店ビル1階)か阪急百貨店6階の翻訳部のゼロックス係へ。
● 会議室をおさがしなら
阪急ターミナルビル最上階のドラックスルーム。3カ月前に予約を受け付けて、32名の部屋で3時間11,000円から。
電話 31-5338
● 新阪急ビル8Fスカイルーム
10名用から100名用まであって、3カ月前から予約。10名6千円から。電話 31-4127
● 西阪急ビル地下1階は4つの部屋
30名用の部屋で3時間6千円。電話 31-3341



室内ゲーム
● 梅田ガンコーナー
最新の遊技機をどんとどとり入れているのでなかなか楽しい11時～22時(日祝は10時から)北野劇場裏側。電話 312-7662
普通、ゲームセンターでは景品つきのものは少ないが、ここには鉄砲で打ち落とすと、チョコレートやキャラメルがでてくるガンコーナーがある。それもガンという音とともにベルトに乗って自動的に景品がでてくる
● 東宝ビリヤード2店
プラザ劇場裏の三番街店はまだ新しくラシャもきれい。10時～23時。1時間280円。電話 372-9537。東宝文社1階の梅田ビル店は11時～22時。1時間260円。電話 313-0149。どちらも四ツ玉とローテーション。
● 碁会所2題
OS囲碁センターは梅田会館4階。11時～21時20分。入場料130円。ゲーム料1局40円。日本棋院辻井六段指導。男子は月曜、女子は火曜それぞれ2時から400円。電話 312-1581
阪急囲碁クラブは梅田地下劇場向い。11時～21時半。入場料130円。敗者40円。金曜日5時から関西棋院水田七段が指導。有段者1,000円、有級者500円。電話 313-4443

こんな時は こうしたら



● 落としもの、忘れものをしたら
傘、カバン、定期券はワカル入庫、骨董、卒塔婆、となったらどうなってるの?
阪急電車の中で落ちたり忘れたりしたら、まずここに問い合わせてください。当日の場合は、電話 5220 または電話 5221。翌日からは梅田駅2F北口中央にあるお忘れものセンター 電話 5226 へ。
8時半から夜7時45分まで受付、年中無休。
集められた品は3日間保管して、曾根崎警察署へ移管しますから、忘れもの・落としものに気がついたら、スピーディに行動すること。

● 定期券を優雅に買うなら
ついうっかりしてしまう定期の購入。予約定期券購入申込みにしておくと安心です。
阪急梅田駅2F西側の定期券売場、9番の窓口に行ってください。(朝7時から夜8時まで)たとえ、正午までに申込みはその日の夕方4時にはもらえます。2F中央助産室なら夕方7時から翌朝7時まで受付。どちらも住所は正直に書くこと。



● 迷子、いやがらせて困ったら
まず梅田駅構内の場合、迷子の呼び出しは助産室にかけこんでください。すぐに場内アナウンスをしてもらえます。
つぎに、三番街、17番街、阪急ファイブの場合、迷子、忘れもの、酔倒者、いやがらせ、けんか、すべてやさしいガードマンが頼もしく面倒をみてくれます。
● タクシーに乗りたし、行列は長い
阪急梅田駅構内1Fの西側にあるタクシ乗り場。いそぐのに行列が長いときは乗り場すぐ南側にある無線タクシ呼び出し電話ボックスにかけつけよう。100円硬貨を入れてタクシ会社を呼べば、5分以内に配車される。但し、料金は割増です。念のため。



● 催しものご案内は
阪急百貨店ビル構内にある阪急交通社プレイガイド。大阪を中心にとした京阪神一円の音楽・演劇・その他各種物の前売券の発売をしています。ここへ行けば切符も買えるが催しの情報も得られます。プロ野球、宝塚歌劇の前売券はモチロンです。秋の催しは今のうちにいいお席をどうぞ。
電話 31-3341

トピックス

● 銀が麻にへんしん
阪急航空ビル地階のレストラン・シルバーが9月1日から阪急麻雀クラブとして生まれかわる。設備は超ドラックスで、予約承りますとのこと。
時間は16時～23時。1人1時間80円。電話 31-5474

● 古代ローマ調のファッションタウン
11月2日オープン
ここにすれば、何か楽しい新しい催しにぶつかるといふ、イベントのまちファイブに、来たる11月2日、地下2Fがオープンします。
婦人ファッション用品を中心にズラリ並ぶのは15店。なんでも古代ローマ調のクラシックなインテリアが呼びものとか。くわしくはあけてからのお楽しみ
● 昨年の秋買ったドレス、そろそろ買い替えなきゃ」といっておしゃれなミス、ミセス、秋・冬仕度は、オープンを待ってからの方が、グッと差をつけるのでは?



●つるべにもたれて……
地中海に面した古城にでもありそうなつるべ井戸。阪急17番街の西班牙珈琲館の真中にありました。わざわざスペインから船で運んで来たそうで、店内はちょうどスペインの邸宅の中庭のよう。

●コーヒーは9種類ほどあってマイルドが10円。コクのあるカプチノ（ニッケとレモンが入っているのだそうです）20円。
●昼めしもたまには……
給料日にはデラックス昼食をといる人には、阪急ターミナルビル17階の新阪急ホテル直営のルシエルと宝塚ホテル直営のマホガニーはいかが。ルシエルは11時半から14時半まではランチタイムサービスで、1200円と1500円の特別メニュー。マホガニーはランチタイム（14時まで）には毎日メニューがかわるスペシャルランチ600円がある。



●外タレが来たら大月ファイブレコードマニアには、圧倒的支持を得ている大月ファイブ。ここに行けば、全国10位までのヒット曲が一目でわかる仕組み。最近クラシックレコード部門をポピュラー中心に組みかえたといわれるだけあってポピュラーレコードの豊富さはビカ一月に2、3回、有名なミュージシャンのサイン会もやっているから、関西に外人タレントが来たら、まずこのお店をのぞいてみることに。阪急ファイブ2階

●ビタミンCが生きている……
果物屋さんかと思えば奥に喫茶室もあるのが三番街地下2階のキムラヤ。フルーツジュースを中心に、パフェ、みつ豆などがあるが、このフルーツは街店など一切使わぬ生の味が特長。ジュース20円。八番街にあるキムラヤは本店。
●秘薬？ガラナも飲みます
コーヒー以外に飲むものないか？という向きにおすすめたのがティールーム・ジョイのガラナ。場所は三番街地下2階の南の端。世界的強精剤といわれているガラナで夏やせ回復をガラナ10円、同カクテル20円。

営業時間

●阪急三番街
10時～22時。物品販売は21時まで。第3水曜日定休。
●阪急17番街
11時～20時。毎水曜日定休。
●阪急ファイブ
1階～4階は11時～21時。地下1階は22時まで。梅田OSポウルは9時～24時（日・祝日は朝6時から）。5階ジョイジョイ5は11時～24時。第3火曜日定休（梅田OSポウルとジョイジョイ）

●売切れ必至のテーブルクロス
阪急17番街のクラレ・インテリアで売ってるチロルのテーブルクロスは、品切れ続出というほど人気を博しています。麻と綿混紡の清楚な美しさはチロル独得のもの。直輸入しているもので、同じものにはめったにお目にかかれないそうです。
●ブラウス一着23000円也
セルジ・ベリー社（パリ）製
イ5は年中無休。
●新阪急八番街
11時～21時。第3日曜日定休
●阪急百貨店
10時～18時。9月17・23・24・30日は19時まで。地所食料品売



で阪急17番街のベニヤブリオールで、いま一番高いブラウスだそうです。前の打合せに、ゆったりとしたボーがついているくらいで、どこかいて特徴のないデザイン。
「こんなに高いもの……」
「エエ、普段にこういうのを着ていると、センスもよくなり、長持ちもするし、結局トクですよ」
なるほど。
「一番安いものは？」
「デイオールのおしほり200円です。ブルーとオレンジ、イエロー、ブラウンがあります」でも、いま売り切れだ……。やっぱり知っている人は知ってるんですね



阪急百貨店10時～19時

場は連日19時まで。8階食堂は連日20時まで。毎月曜日定休。
●梅田地下街
10時～21時。飲食は23時まで。第3水曜日定休。
●阪神百貨店
10時～18時。食品のみ19時まで。土・日・祝は全店19時まで。毎水曜日定休。
●阪急内郵便局
9時開業。郵便・電報は17時まで。為替・貯金・年金・保険は、16時まで。日曜休。電話は20時まで（市外受付19時45分まで）、休日も開業。阪急百貨店東側。

へんしん 梅田



ここ数年のあいだ、梅田かいわいは変身変身また変身だ。ターミナル関係だけでも昭和41年2月、梅田駅移設工事始まる。神戸線ホーム42年8月完成。宝塚線ホーム44年11月完成。同時に阪急三番街オープン。京都線ホーム46年11月1部完成。現在、残りの1ホーム工事中。阪急ターミナルビル17年3月完成、同時に阪急17番街オープン。また、貸ビル関係では東阪急ビル41年、西阪急ビル・芝田町ビル45年、北阪急ビル・メタポ阪急46年にそれぞれ完成工事ラッシュ・変身ラッシュである。現在の変身2カ所にスポットをあててみた。

あれ/昨夜までコンクリートだった床が今朝は大理石に……通路もかわっちゃった。梅田駅のあたりは、一夜でガラリと様子がかわってしまいました。いま大理石のような美しい敷石が敷かれている所は、11月下旬に工事が終り、3階から上は阪急百貨店の光場となります。また、仮設で囲まれているむかしの京都線の方は、別のビルが建つ予定で、完成はうーんと先になる予定ですが、11月末には

旧駅通路は9月中にすっきりと完成は11月

現在の通路になつて部分あたりは美しく変身するわけです。工事完成は11月ですが、9月にはいると、通路部分のいろんなところで小さな変身が見られるようになります。まず、天井部分のトタン板が次々とがされ、本もの天井が顔をのぞかせます。いまの仮天井より1.8mも高く、美しいアルミ天井となります。ここは3階まで吹きぬけで、高さ6.5mもある高い通路になります。また、歩きにくくて迷惑をかけている板囲いの床部分も、9月中には全部はずされ、いま敷かかっている同じ美しい石の床となります。9月中には通路としての体裁は全部そろわうわけ

阪急ターミナルあたりが偉大なる変身なら、梅田スポーツガーデンは華麗なる変身といえましょう。現在改装中で、9月2日に新装オープン。ポウリング場、アイススケートリンク、ビリヤード、ピンポンなど室内スポーツがそろった総合ジム、その変身ぶりは……ピンポンとビリヤードは冷房コーナーの新設やラシャの貼かえなどでいっそう涼えるムード。最大の変身はポウリング場。フランスウイックAを新しく採用して28レーン。冷房装置も馬力アップで、ぐーんと涼しくなります。明るいムードの中で爽やかプレーを……。

表紙になつて天六の阪急ポウルと同じ会社。天六での経歴を生かして、いっそう楽しいポウリング場に変身してみせませ、とガンバッてます。梅田でただ一つのアイススケート場も怪物（ザンボニー）が登場して、氷質はレベルアップ。天然リンクの滑り心地が味わえます。このほか、1階のスナックは外からも入りで、ラーメンコーナーには、自慢のオートマチックゆで上げ器が登場し、味覚の点でも楽しめます。

華麗なる変身 梅田スポーツガーデン



「出発シンコウノ」
「場内チュウイノ」

運転室近くにいると、前方の信号を見て復唱する運転士の声が聞える。電車が走るとき一番頼りになるのがこの信号。安全運転の全ては、この信号にあるといえましょう。そして、その信号の心臓部が梅田駅にあるTTCセンターです。

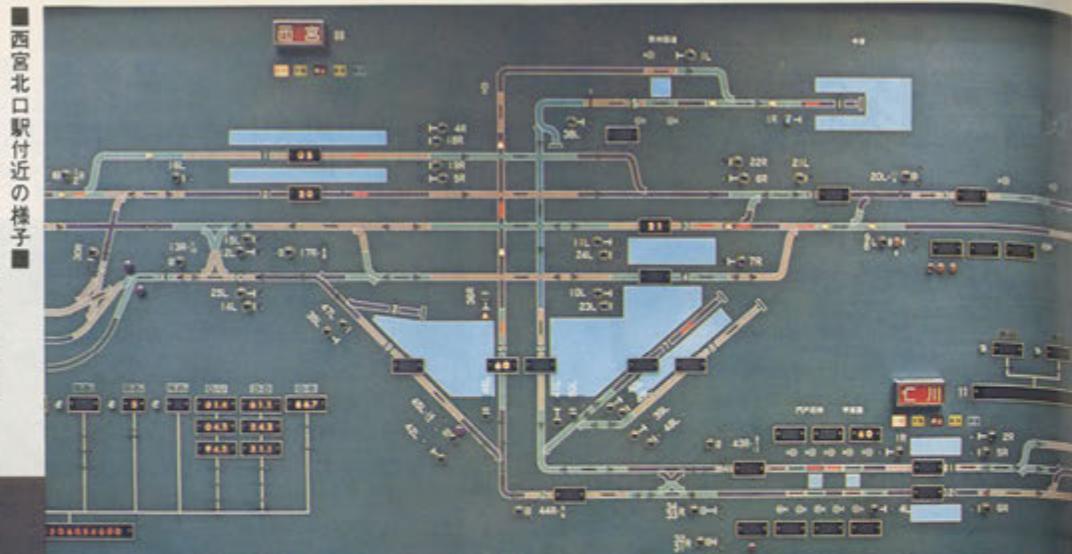
TTCとは Total Traffic Control の略で私鉄界ではほぼ全線に採用しているのは、阪急電車だけです。

TTCセンターとは、全ての信号を一カ所で管理するところ——そしていままでの34カ所の信号所、そこで働く多くの人の手が、この機械の中に、カン詰された所といえましょう。機械の真中で軌道照明盤をにらんでいる人が指令長ですが、普通は何もしません。

あらかじめ組込まれたプログラムが自動的に全線の信号を制御し、電車の安全運行をおこなうわけです。

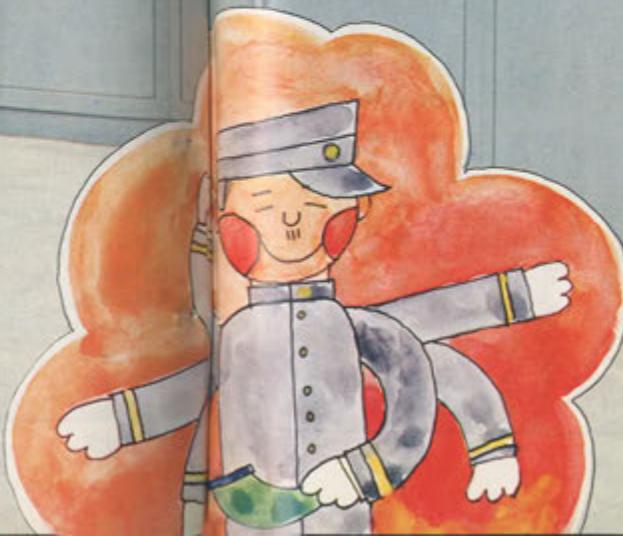
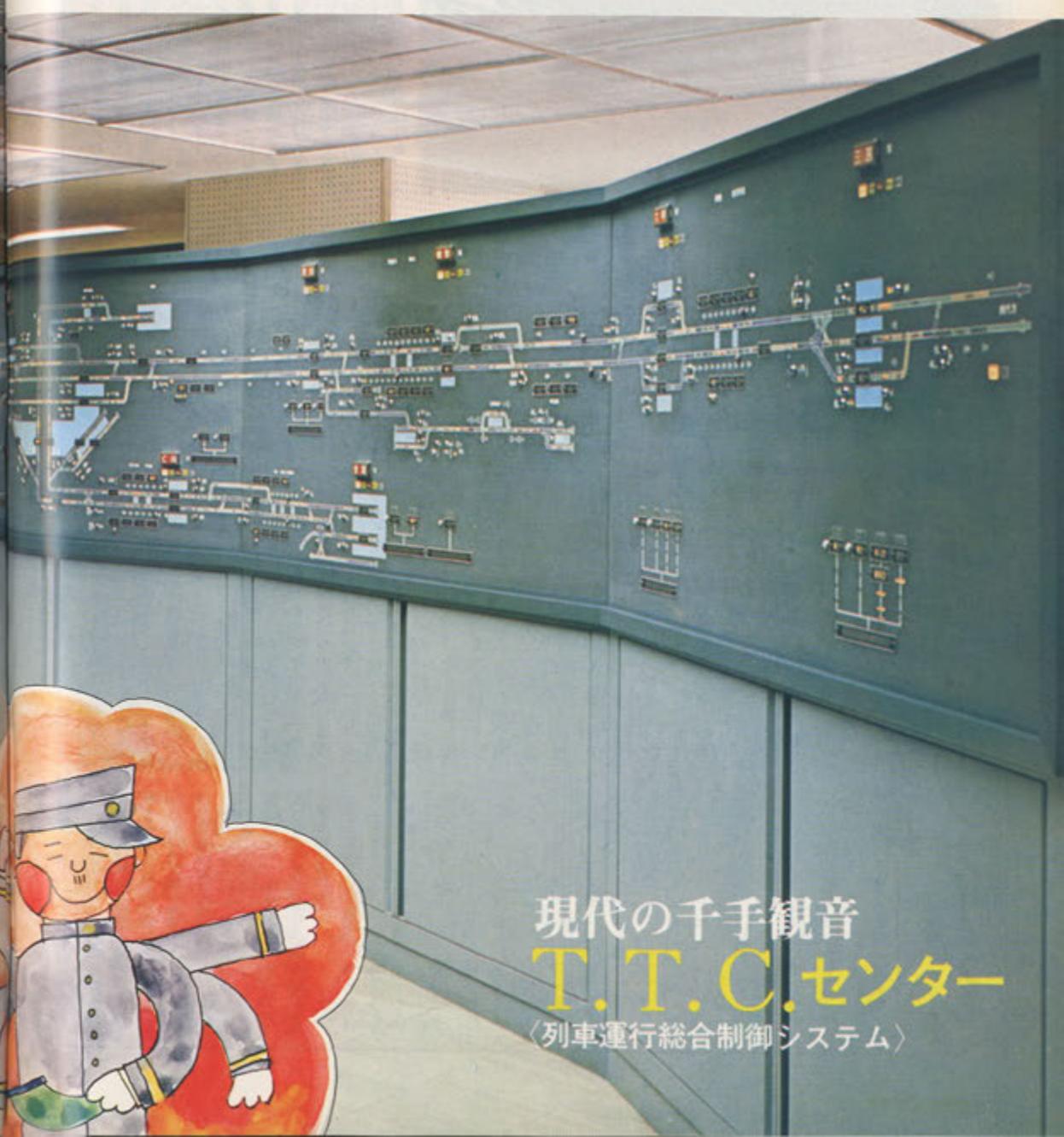
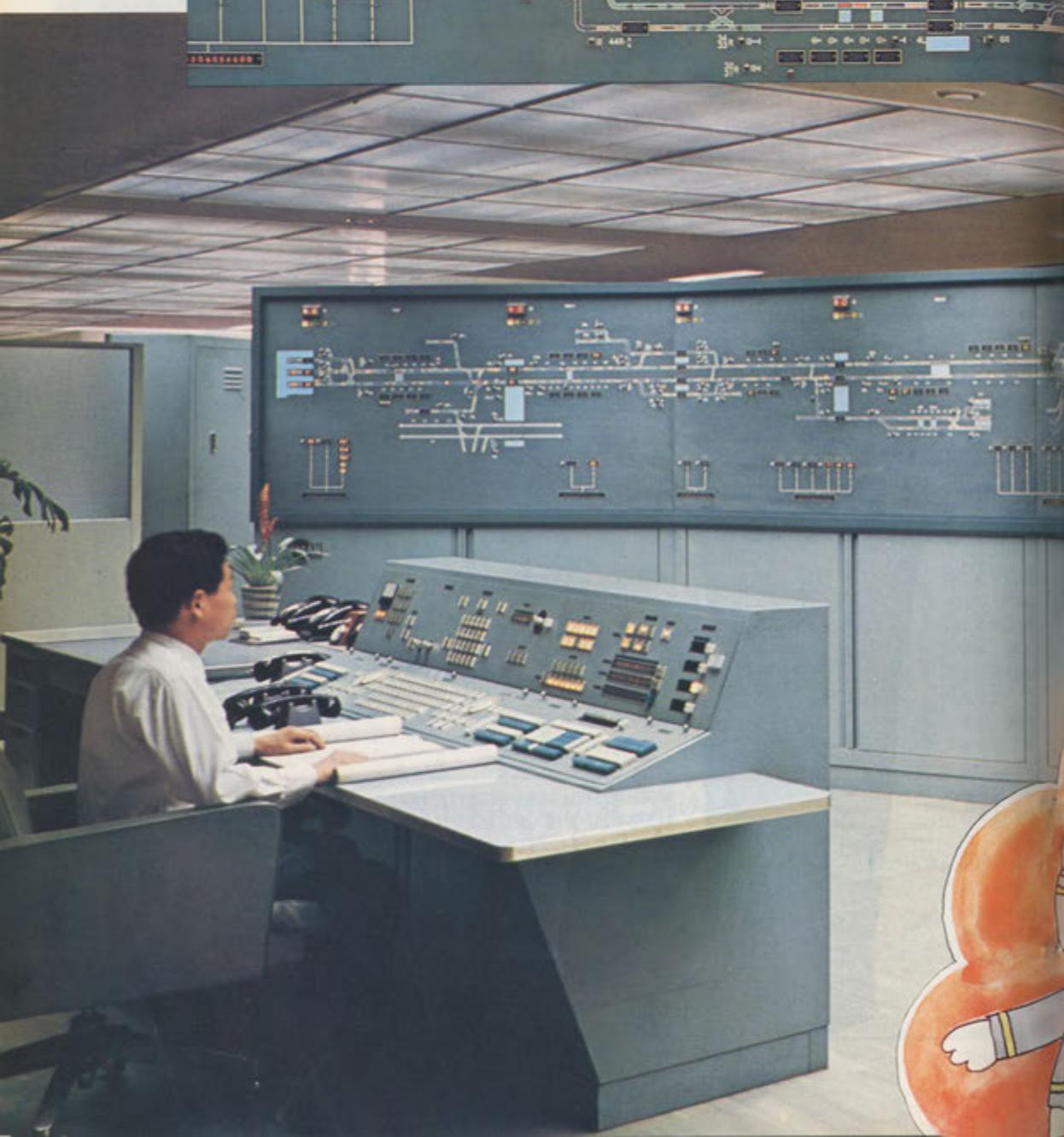
信号、ポイントの切替えはもちろん主要駅の行先案内表示やそのアナウンスも、この機械がすべて指令を出します。

何かの事情でダイヤ変更をしなければならぬ時、ベテラン指令長がこの機械を通し指令を出します。



■西宮北口駅付近の様子

ヨコの線が神戸本線でタテが今津線。左が大坂方。赤い光りが電車で、左上方は特急待ちの普通車(20)のいるところへ大坂発の特急(05)が入ったところ。今津行電車が本線を渡っているから、本線の青信号は点灯せず、停止となっている。



現代の千手観音
T.T.C.センター
〈列車運行総合制御システム〉